

# 外環の必要性

## 首都圏の交通問題

### 慢性的な渋滞が発生

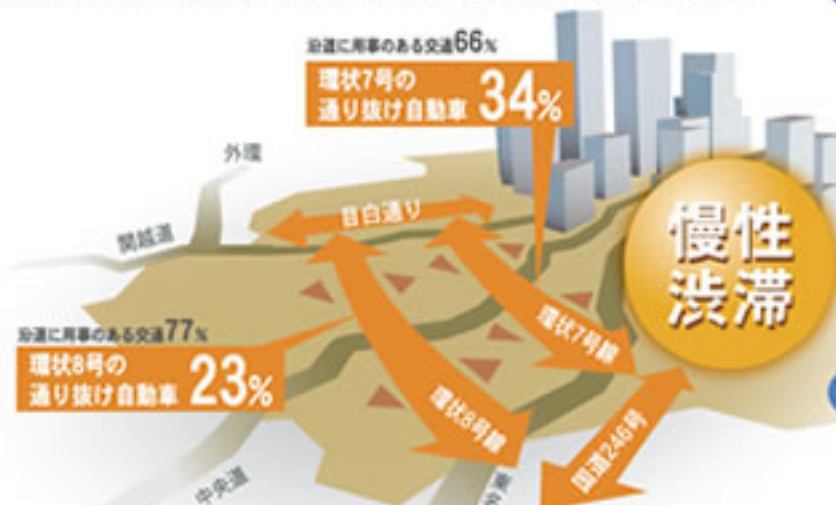


首都圏では、東京都心部に自動車交通が集中しています。都心へ集中する放射道路に対し、環状道路の整備が立ち遅れていることが原因と考えられます。



### 東京の西部地域では

南北方向の交通が環状7号線と環状8号線に集中しています。



### 慢性的な渋滞が発生

環状7号線、環状8号線では慢性的な渋滞が発生し、日常的に用賀から大泉まで1時間以上もかかっています。



### 交通が集中することにより

大気汚染が深刻です。



### 交通渋滞を避けるために

通り抜け自動車が生活道路に侵入しています。



## 外環の整備効果

道路の安全性や円滑性、利便性が向上。大気汚染の改善や経済効果が期待できます。

### 1 安全で円滑な幹線道路網の形成

環状道路が整備されると都心に集中していた交通が分散されます。これにより、都心部の交通量が減少し、走行速度がアップすると見込まれます。

東京都心に自動車交通が集中しています。



外環が整備されると

都心に発着しない車をバイパス



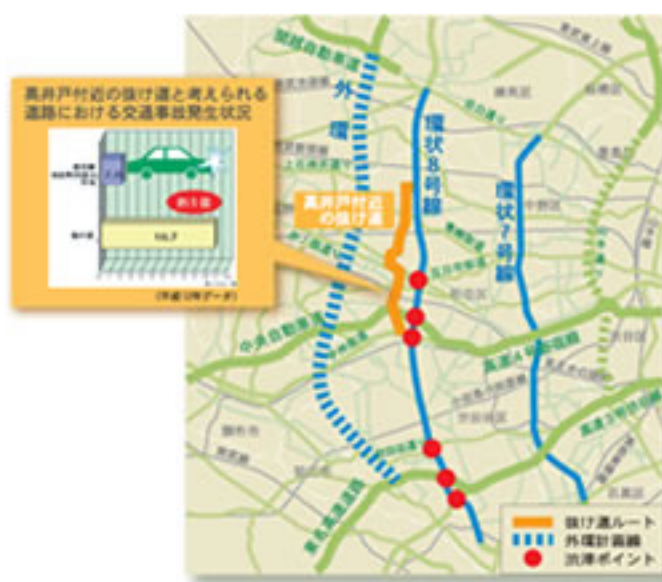
### 2 慢性渋滞の緩和

環状8号線の周辺道路の慢性渋滞は緩和されます。

- 環状8号線の交通量 → 約1~2割減
- 首都高速3号、4号の交通量 → 約2割減

### 3 通り抜け自動車対策の推進

環状8号線の渋滞が緩和し、生活道路に入り込んでいた通り抜け自動車が環状8号線を走行。生活道路の安全性も向上します。



### 4 利便性の向上

外環（関越道～東名高速間）が完成すると高速道路が連結。たとえば東名高速～東北道間の行き来では移動や輸送など大幅な時間の短縮が見込まれます。

所要時間の短縮！

- 最短 約45分 → 約25分
- 最長 約110分 → 約50分

●外環（関越道～東名高速区間）が完成すると

東名高速道路 — 東北自動車道 34km (清瀬ジャンクション) U10ジャンクション  
所要時間: 約25分～約50分

●現状では「環状8号線、外環経由の場合」

東名高速道路 — 東北自動車道 33km (清瀬インターチェンジ) U10ジャンクション  
所要時間: 約50分～約110分

●現状では「首都高速経由の場合」

東名高速道路 — 東北自動車道 40km (清瀬インターチェンジ) U10ジャンクション  
所要時間: 約45分～約105分

例えば、東名高速から東北道間の行き来では大幅な時間短縮が見込まれます。

